

科目名		演習 I (租税法)	
担当教員	太郎良留美	科目区分	演習
開講区分	通年	単位数	4単位
曜日時限	水曜・2時限	開講年次	1年
到達目標	この演習は、近年税制において検討されなければならない課題はどのようなものがあるかを、受講生自らが研究・調査を進め、それらを発展させることによって、修士論文の素案を作ることを目標とする。		
授業概要	修士論文のテーマを見出すために、租税法に関する論文や専門誌から情報収集を行い、それを素材とする報告と意見交換を行う。		
授業計画			
回数	内容		
第1回	オリエンテーション		
第2回	法律論文の書き方		
第3回	文献調査の方法		
第4回	関連文献の輪読		
第5回	関連文献の輪読		
第6回	関連文献の輪読		
第7回	関連文献の輪読		
第8回	関連文献の輪読		
第9回	関連文献の輪読		
第10回	関連文献の輪読		
第11回	関連文献の輪読		
第12回	関連文献の輪読		
第13回	関連文献の輪読		
第14回	関連文献の輪読		
第15回	まとめ		
第16回	オリエンテーション		
第17回	修士論文の構想発表		
第18回	修士論文の構想発表		
第19回	修士論文の構想発表		
第20回	修士論文の素案発表		
第21回	修士論文の素案発表		
第22回	修士論文の素案発表		
第23回	修士論文の素案発表		
第24回	修士論文の素案発表		
第25回	修士論文の素案発表		
第26回	修士論文の素案発表		
第27回	修士論文の素案発表		
第28回	修士論文の素案発表		
第29回	修士論文の素案発表		
第30回	まとめ		
準備学習等 (課題・予習・復習・調査等)	この演習の目的は、履修者自身が修士論文のテーマをいち早く見つけ、修士論文の完成を目指すことである。常日頃から自身の研究テーマに関する資料を収集し、論文作成への作業を進めること。		
評価方法・基準 ・講評の方法	評価方法：発表用レポート(50%)、授業中の報告・発言等(50%) 講評の方法：希望者には、研究室で個別に行う。		

テキスト・参考書	必要に応じ、適宜紹介する。
前年度の授業をふまえた今年度の授業方針	各自が修士論文のテーマを設定できるよう、丁寧な指導と助言を目指す。
学生へのメッセージ	修士論文完成への道のりは長く、くじけそうになることがあるかもしれないが、共に励まし合い、ゴールを目指そう。
授業に参考となるサイト	国税庁 HP https://www.nta.go.jp/ 財務省 HP http://www.mof.go.jp/ 裁判所 HP http://www.courts.go.jp/
関連する画像	
その他・備考	